

2025年8月8日

たねと食とひと@フォーラム 御中

日清オイリオグループ株式会社  
広報部

### 食用油の原材料に関するお問合せについて

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、お問合せの件、下記のとおり回答させていただきますので、ご査収いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

質問1 製品の原材料及び原産国、非遺伝子組み換えのものを分別生産流通管理されたものか不分別かについてお答えください。

回答1

製品	原料作物	原産国	遺伝子組み換え		使用開始時期
			分別	不分別	
日清キャノーラ油	ナタネ	主にカナダ、オーストラリア		○	1997年
日清サラダ油	大豆	主にアメリカ、ブラジル		○	1997年
	ナタネ	主にカナダ、オーストラリア		○	1997年

質問2 遺伝子組み換えの原材料を使用している製品に関して、今後、非遺伝子組み換えのものに変更する予定はあるでしょうか。予定の有無とその理由をお答えください。

回答2 □有 ■無

その理由 現状、変更する予定はありません。

質問3 分別生産流通管理済みの原材料について、その表示をする予定はあるでしょうか。

回答3 現状、表示する予定はありません。

質問4 消費者のなかには、遺伝子組み換えでない原材料を求める声もあります。今後、遺伝子組み換えでない原材料の製品を供給するには、どのような課題があるでしょうか。

回答4 原材料の安定調達、製品の安定供給の観点から、当該原材料を調達することは、困難であると考えております。

質問5 ゲノム編集由来の原材料が入手できるようになった場合、使用しますか。

回答5 引き続き、安全性を含め国内外における開発・届出状況を注視して参ります。

質問6 気候変動等により原材料の調達で最も課題となっていることについてお教えください。（例えば、干ばつによる収穫量の減少等、生産地の状況等）

回答6 原料産地の気象パターンの変化（気温上昇、降水量変化等）により、原料の発育に悪影響を与え、原料の生産量が減少したり、品質が悪化するリスクが高まっています。また、バイオ燃料の利用拡大により、国際市場における食料価格が高騰する傾向が見られます。さらに、気候変動が海外からの穀物の海上輸送ルートである運河の通行規制につながるなど、物流にも影響を与えるリスクがあります。

質問7 搾油後の油粕や搾油中に出る副産物はどのように利用されていますか。（例えば、肥料や家畜の飼料、バイオディーゼル等）

回答7 飼料、肥料、工業用原料、食品添加物の原料などに利用されます。

質問8 産地農場から輸出港、輸入港、貴社製造工場までの原材料の管理・輸送方法についてお教えてください。

回答8 農家から集められた原材料は、各地域の集積所を経由し港湾サイロに運び、そこから大型のバルク（ばら積み）貨物船で輸送します。なお、原材料によっては、栽培地域で製造された原料油を貨物船で輸送することがあります。

質問9 原材料トレーサビリティについて

回答9

主原料の入荷記録の保存	<input checked="" type="radio"/> 有	無
製品の出荷記録の保存	<input checked="" type="radio"/> 有	無
製造ロットと出入荷ロットの対応付け記録の保存	<input checked="" type="radio"/> 有	無

以上